

# やまのうち通信



## 第 146 号

令和元年 6 月 20 日

山内自治振興センター  
庄原市山内町 813-4  
TEL・FAX (0824) 74-0451  
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

国王であれ  
農民であれ  
家庭に平和を見いだせるもの  
がもっとも幸せである  
—ゲーター—

## 山内小学校区民合同大運動会 6月2日(日)



6月2日(日)午前9時から山内小学校グラウンドにおいて恒例の山内小学校区民合同大運動会が開催され、小学生、区民約400名が参加しました。

今年は5月に真夏が続く運動会の日も熱中症の心配がありましたが、幸い当日は曇りの天気でも気温的に最適な運動会日和となりました。予定通り午後3時頃には事故もなく無事に終了しました。

年々高齢化が進む中ではありますが、参加者全員一生懸命頑張りました。特に山内小学校を卒業した多くの中学、高校生が参加してくれ元気を与えてくれました。また、高齢者では平田自治会の100歳になる女性も、ひ孫の勇姿を見るため観客として参加されており、元気をいただきました。



### 【区民運動会結果】おめでとう!

●競技に参加された区民のみなさま、応援してくださったみなさま、お疲れさまでした!



優勝 本郷・殿垣内チーム  
準優勝 平田・大下チーム  
3位 行里・日向チーム

4位 隠地・山王・開拓チーム  
5位 木戸・尾引チーム  
6位 水越・高茂チーム

# 山内女性会「研修旅行へ行ってきました！！」

油の発火実験の様子



西地区女性部では、6月13日（木）に研修旅行を行いました。20名の会員が参加し、今年は尾道市防災センターと万田発酵での視察研修でした。防災センターでは、「放火」を防ぐためには地域の環境を整えることや地域の繋がりを深めることの大切さを学びました。また、油の発火実験を見ることで、火事の怖さを改めて知り、火を使うときは油断禁物と痛感しました。

万田発酵では、「発酵」の働きと製造工程を学びました。マツダスタジアムと同じくらいの工場敷地の中に、3年3ヶ月発酵させるための樽を保管する倉庫が何棟も並んでいたのが圧巻でした。また、昨年8月にオープンした「HAKKOU ガーデン」には、珍しい植物が幾種類も青々と育っており、「酵素の効果かな・・・」と思いながら帰路につきました。とても良い天気で、親睦も深めながら実りある研修旅行ができました。



消火器を使用した消火訓練の様子



## 「環境パトロール隊」 公衆衛生推進会山内支部・山内自治振興区公衆衛生推進部では ゴミ不法投棄防止パトロールを実施しています！



↑5月11日実施  
左から長泉進さん、松田一馬さん、加藤勝利さん



↑6月1日実施  
左から國近浩二さん、杉山仁さん



### 7月の予定

- 9日 ふれあい給食
- 9日 老人クラブ定例会
- 20日 自治会長会
- 23日 ふれあい給食



### 男性料理教室 6月6日（木）8名参加



- ・春巻き
- ・鱈フライ
- ・中華酢の物
- ・トマト寒天



美味しくできました♪

## 「いざと言う時の災害に備えて」

相扶の郷居宅介護支援事業所 介護支援専門職員 吉川美法

今年も梅雨の季節となりました。昨年7月の西日本豪雨による甚大な被害は、まだ皆様の記憶に新しいと思います。私は過去に自宅裏山が亀裂で崩れそうになったため、近所に一時避難させて頂き、とても不安な生活をした経験がありました。昨年の夏もその記憶と重なって、身が震える思いで雨が降り止むのを待ちました。一時避難した時の経験から、いつ何が起きても落ち着いて行動できるよう常に災害に対する備えをしておかなくてはならないのだと心に留めるようになりました。

そんな経験をした私ですが、「喉もと過ぎれば熱さを忘れる」とでも言いましょうか。今日明日にでも起こり得る危機感を忘れてしまい、多忙な毎日に追われて何の準備もできず、あっという間に一年が過ぎていました。今年こそは、災害に備えて、今すぐ行動に移せることから始めようと思います。

毎年、様々な災害対策の情報が発信されていますので、それらを参考にしながら、自分ならどうするか、「生き残るための防災マニュアル（手順・準備）」を具体的に考えてみませんか。

### ■防災グッズ（用品）は準備できていますか？

非常事態を想定して必要となる物を書き出してみましょう。食料や日用品は使い慣れた物を多めに買い置き、賞味期限があれば、そのつど更新しておきましょう。

### ■複数の避難経路や避難場所、連絡先を知っていますか？

山沿い、川沿い等、住んでいる環境条件が違います。一度は自宅周辺を歩いて、道路の様子や方角、河川の流れや日頃の水かさなどを覚えておき、緊急時の行動を想定しましょう。自然は昨年と同じ条件では有りません。記録や情報は過去のものです。

### ■命を優先した避難行動を決断する勇気を持ちましょう！

家族や近隣の人を守るのも守られることも大事ですが、災害を回避する第一条件は、まず自分の命を優先することだそうです。避難勧告や避難指示を聞いてから行動するのでは間に合いません。命の優先順位は自分で判断しましょう。

### ■緊急時に相談できる人がいますか？

家族や隣近所、自治振興センター、行政機関、地域相談センター、ケアマネネジャーも相談窓口となります。



## 「アダプト活動始まる！」

●今年も多くの自治会でアダプト活動に取り組んで、地域の環境整備を行っていただいております。



↑ 山内アダプトチーム

尾引バス停から種森橋まで国道183号線



↑ 水越アダプトチーム

県道平田金田線

# 定住促進プロジェクト（空き家活用）だより



左から、藤田典久さん・寺西玉実さん

令和元年からスタートした山内自治振興区「定住促進プロジェクト」の地域マネージャーを担当することになりました藤田典久と寺西玉実でございます。

当地区では初めての試みとなります。微力ではございますが、二人、力を合わせて山内地区の更なる活性化に向け、頑張っていきたいと思っております。現在、山内地区への移住希望の声が多くあるなか、山内地区の「空き家バンク」登録数は0件です。

最初の取り組みとしては、空き家のデータベース化を考えています。各自治会で調査頂いた「山内地域の空き家調査票」に基づき、「空き家マップ」の作成や家主さんへ空き家活用希望等のアンケート調査を行います。

また、今後は魅力ある山内地区の「紹介ホームページ」作成や「山内町へ来てみんさい」定住観光パンフレットの作成も考えています。今後、事業計画を進めるにあたり、地域の皆さま方のご支援・ご協力を得ながら、連携を密にして、出来るところから定住促進に向けて、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

## おたがいさまネット「防災マップ作り講習会を開催しました」



6月14日（金）、自治振興センター2階会議室に於いて、「防災マップ作り講習会」が開催され、各自治会長をはじめ、おたがいさまネット関係者、女性会、消防団有志など32名の出席がありました。講師は府中市在住の藤原正夫氏で、広島県防災アドバイザーを務めておられます。

話の初めでは昨年7月の西日本豪雨災害の被害状況や、平成22年庄原豪雨、26年広島土砂災害など近年の大雨災害を振り返る中で、何処でも起こり得る災害への備えは、平時の取り組みこそ「防災」につながる事が強調されました。また大雨による災害に対しては、「発生しうる災害の予測・危険箇所の周知」を図り、「安否確認・避難行動」の仕組み作りが指摘されました。

これを実現する具体的な活動のひとつに「防災マップ作り」がありますが、先ず地域の現状を把握することから始めます。既に庄原市から提供されているハザードマップを活用したり、住民が自分の住む地域を見て回ったりして、危険箇所や避難経路・避難場所などの情報を地図に書き込んでいきます。完成した地図によって可視化された地域の防災情報を、住民自身が共有することで、災害時には慌てず、冷静に、適切な対応がとれるように備えることが出来るとのことです。

山内自治振興区ではこの「防災マップ」を自治会ごとに作製するように進めています。これは自治会という小地域で取り組むことによって各地域固有の情報をきめ細かく書き込めることに加えて、各「おたがいさまネット」で取組んでいる高齢者等の避難支援体制の可視化を図ること、大雨災害時などに避難を要する世帯と、その必要のない世帯を識別することが出来るなどの効果があります。

尚、「防災マップ作り講習会」は今回を含めて2回開催されることになっています。次回は危険箇所等の情報収集を目的に「まち歩き」体験を日向地区で行ないます。また市役所から自治会ごとの詳細地図の提供を受け、情報を地図に落としとしていく作業を学びます。日時が決まり次第、関係者の皆様には自治会長を通じてお知らせしますので、よろしくお願いいたします。

地域マネージャー 三上智道